



市では、今回の県の想定における本市の被害想定とその要因を調査・分析し、対策の行動目標となる「沼津市地震・津波対策アクションプラン」を平成25年度に作成します。

具体的には、レベル1・2それぞれにおいて対象とする地震や津波が異なること、また想定条件により、建物や人的被害等に大きな違いがでていることから各想定における内容を精査し、減災対策を洗い出すものです。そして取り組むべき対策を緊急・短期など達成時期を区分することもにも数値目標を定めていく計画です。

作成後、このアクションプランに基づき、ハード・ソフト両面から様々な対策を着実に進めていきます。

新たな対策
地震・津波から命を守る

公助
市の対策

地震・津波対策の目標
アクションプランを定め
着実に進めます
緊急・短期対策、中・長期にわたる対策について取りまとめ推進します

自助
自分の身を守ろう

身を守るために
出来ることから始めよう！
自分と家族を守るためにすぐ出来ることはたくさんあります

地震
進めよう
自宅の安全対策

■住宅の耐震化

地震による建物倒壊から身を守るため耐震化をしましょう。昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の耐震工事に補助金がです。

■ブロック塀の撤去・改善

危険なブロック塀等の撤去や改善を行う場合には補助金がです。

詳しくは市建築指導課
Tel 934-4759

■家具の転倒防止

満65歳以上の高齢者世帯や障害のある人を含む世帯、母子家庭には、家具の固定を無料でを行います。

詳しくは市危機管理課
Tel 934-4803

備蓄
備蓄は7日分

7日分のうち非常持ち出し品は3日分準備しましょう。

発災直後は、人命救助を最優先とするため、支援の手が行き届かない可能性があります。日頃から備蓄品や非常持ち出し品の準備をお願いします。

共助
地域・近所で助け合い

地震・津波からの減災
率先避難を徹底しよう
津波の危険から速やかに避難する取り組みを進めよう

自主防
ご存知ですか
自主防災会

災害の拡大を防ぐためには個人や家族の力だけでは限界があります。災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防活動に取り組むための組織が「自主防災会」です。現在市内には、連合自治会の自主防災会を含め約330の組織が活動しています。

お住まいの地域の自主防災会を確認し、訓練等に参加しましょう。

訓練
大切です
日頃の訓練

地震・津波から身を守るためには、日頃から様々な状況を想定した訓練を重ねることで、緊急時に役立つこととなります。

訓練は、自治会、自主防災会をはじめ市などが行う津波避難訓練、避難所開設・運営のためのHUG訓練など繰り返し開催されていますので、積極的に参加しましょう。



説明
お知らせします
被害想定や対策

巨大地震から身を守るためには、津波避難施設などのハード対策と合わせ、ソフト対策も大変重要となります。

市では、東日本大震災後、地震・津波対策マニュアルや津波ハザードマップを作成し、市民の皆さんに災害時における避難行動や備えについてお知らせしてきました。

このパンフレットでは、県第四次地震被害想定第一次報告の内容についてお知らせしましたが、今後、第二次報告を踏まえて従来の津波ハザードマップを改訂し、平成26年3月頃新たなハザードマップを配布します。

※配布資料

今後の対策	東日本大震災後の緊急対策
H25年度	H23～H24年度
・静岡県第四次地震被害想定(第一次報告)の概要パンフレット(本書)配布 ・津波ハザードマップ改訂版 配布予定 など	・沼津市地震・津波対策マニュアル配布 ・津波ハザードマップ配布(全市・地区版) など